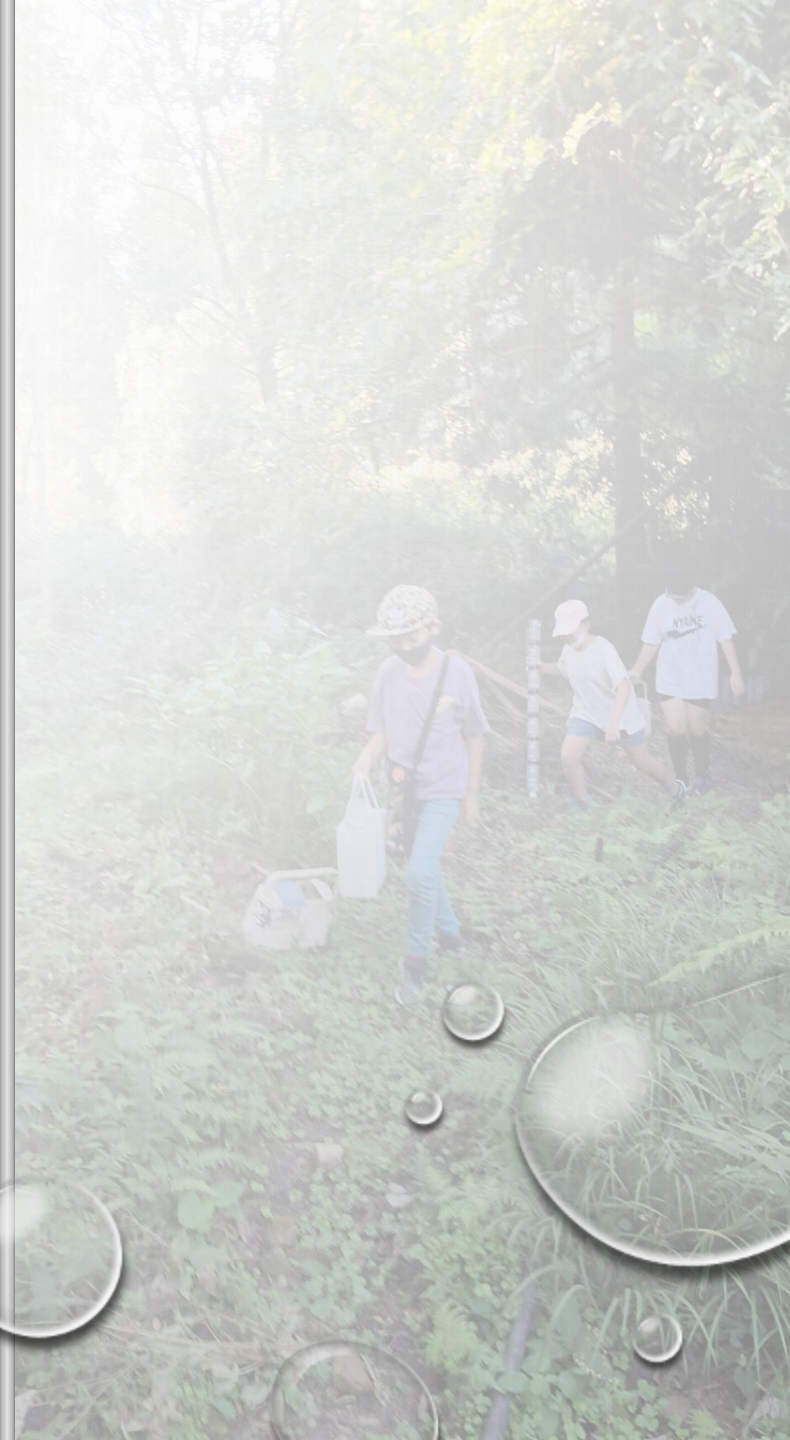


矢田川水質調査隊

～ 2日間の調査結果より～

鳥羽見寺子屋
チームKYRKYR



調査のはんい

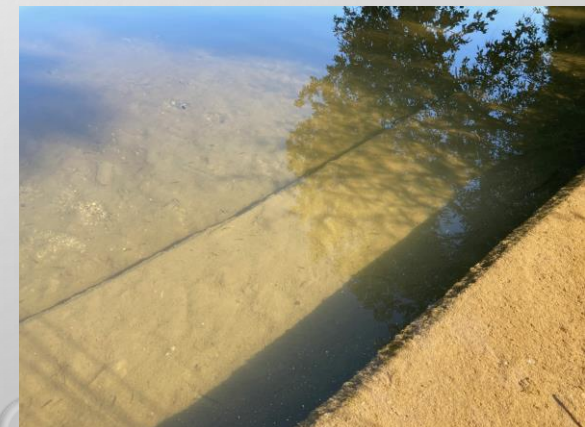
- 矢田川の下流（庄内川との合流地点。調査地点①）から
矢田川の源流（海上川。調査地点③）まで



調査地点①

- 矢田川が本流の庄内川に合流する地点付近で、水質調査を行った。

日時	10月15日(土曜日)
天気	晴れ
場所	矢田川が合流する地点(庄内橋付近)
川はば	30mくらい
COD	4
透視度	68cm
色やにおい	とうめいだけど、ちょっといやなおいがある
気づいたこと	思ったよりも透明だったが、少しだけ、ものようなものが浮いていて、あまりきれいとは思えなかった。



調査地点②

- 鳥羽見寺子屋のある学区の端にある矢田川橋付近で水質調査をしました。

日時	10月15日(土曜日)
天気	晴れ
場所	矢田川橋付近
川のはば	20mぐらい
COD	6
透視度	68cm
色やにおい	ちょっとにごっていて、ちょっと変な匂いがした。
気づいたこと	あんまり川の中に生き物はいなかった。 意外ときれいだった。 水深が思ったよりも浅かった。 藻や水草が多かった。



調査地点②-2

- 矢田川橋付近で日にちを変えて検査してみた。

日時	10月29日(土曜日)
天気	晴れ
場所	矢田川橋付近
川のはば	20mぐらい
COD	3
透視度	50cm
色やにおい	少しい嫌なにおいがした。
気づいたこと	外来種の植物はのびていて、昆虫がいたが、夏に比べると少なかった。 前回よりもCODは低かったが、透視度が悪くなっていた。 前回と同じく、藻や水草が多かった。



調査地点③

- 矢田川の源流の一つ、海上川（かいしょがわ）のさらにその奥で水質調査をした。

日時	10月15日(土曜日)
天気	晴れ
場所	海上川
川はば	50cm
COD	2
透視度	75cm
色やにおい	透明で自然の植物のにおいがした。
気づいたこと	川が浅くて、流れがゆっくりで、高い所から低い所に流れていた。 透明できれいだったが、透視度は水道水ほど高くなかったが、CODは低かった。 まわりに植物や動物(カエルやトンボなど)がたくさんいた。湿気がたくさんで、薄暗く、シダ植物が生えて、木にもコケが生えていた。 近くに武田信玄の墓があるくらいの、山奥だった。



身近なものの水質調査

調べたもの	COD	調べたもの	COD
・調査地点① (庄内橋付近)	4	・水道水	0
・調査地点② (矢田川橋付近)	6	・オレンジジュース	1000
・調査地点②-1 (矢田川橋付近)	3	・カップ麺のスープ	900
・調査地点③ (海上川)	2	・焼き肉のタレ	2000
		・お茶	500

水道水のCODが0で、きれいで安全な水であることがわかった。

海上川は透明度は高くない結果となったが、CODが水道水に近い数値だった。

焼き肉のタレがとても汚い。身近で使っているものは、いろいろな物を混ぜているので、CODの数値がとても高くビックリした。

水質を守るために

- シャンプーや洗剤をそのまま川に流さない。
- 川の生態系を守る。
- 身近にあるものは意外にCODが高いので、ビックリしました。これをそのままシンクに流さないように、ぜんぶ使いきることが大事だと思った。
- 川にゴミを捨てたり、水道管や用水路から、汚い水が流れてきているから、ゴミを捨てないようにしたり、下水処理したきれいな水を流す必要がある。
- 飲みきれないからといって、そのまま流さない。
- 源流の川の近くは自然が豊かで、工場などからの排水がないし、ゴミも少ないので、川が汚れていない。
- 自然を守ることが大事。
- 海や川を汚さない製品を使う。

まとめ・感想

- 川によって汚さが違う
- 川は、身の回りに使っているものの水より、CODが低かった。
- 山奥は自然が豊かで、植物もたくさん生えていたから、CODが水道水なみだった。
- 水道水はもともときれいな川の水をとって、ろ過・消毒・殺菌をしてキレイになっているから、山の中の川も同じようにろ過されているのがわかった。
- 川は自然豊かな方が、水がきれいだとわかった。
- 川は下に行けば行くほど、他の川の水が入り込んで、水が増えて広くなっていくから、水害に気をつける事が大事。
- 生き物を大切にすることがあることがわかった。
- 周りがしめっている川のところに生物が多いことがわかった。